

北海道立学校ふるさと応援事業実施校一覧

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
後志	小樽潮陵高等学校	未来の小樽市・後志の地域創生を担う人材育成プロジェクト(海外語学研修派遣)	小樽市姉妹都市ニュージーランド・ダニーデン市オタゴ大学での語学研修への派遣	人口減少が著しい小樽市・後志にあつては、レガシーの継承とイノベーションの創出による地域創生が求められており、国際的な視野を持ちつつ地域に根ざしてグローバルに活躍する、多様な資質・能力を有する人材の育成が必要である。 現在同窓会による語学研修として、姉妹都市であるニュージーランド・ダニーデン市オタゴ大学へ在校生を派遣しているが、その派遣者を増員し、グローバル人材育成を推進する必要があるため。
		未来の小樽市・後志の地域創生を担う人材育成プロジェクト(ICT環境整備)	ICT環境の整備による学習環境の充実	学習して得た知識・技能を活用するには、認知スキル、メタ認知スキル、社会情動的スキル、実用的スキルを含めた多様な資質・能力が求められる。これらのスキルの習熟に当たっては、多様な学びを可能にする環境が必要であり、生徒の進路に応じた、より高度な学びを実現するためにもICT機器の整備が必要である。
後志	蘭越高等学校	ICT機器導入推進事業	英語科の指導の中で、特に課題のある「話す」「書く」といったアウトプット領域の力の育成にタブレットを活用し、ペアワークによる会話の録音・動画や、英作文などの成果物共有のため、ICT機器を整備する。	グローバル化が進む今日、蘭越町を含むニセコエリアには、海外からの移住者や観光客が年々増加していることを踏まえ、ICT機器(タブレット)を英語科の指導の中で効果的に活用し、生きたコミュニケーション能力の育成を図りたい。
後志	倶知安高等学校	グローバル化に対応する環境づくり	海外姉妹校の検討と交流、地域に住む外国人による講話や交流、帰国・外国人生徒の学習環境整備	グローバル化が急速に進む「ニセコ・倶知安地域」にあつて、海外とのTV会議、姉妹校交流、グローバルリーダーの育成、帰国・外国人生徒が学ぶ環境づくり等を一層進める必要がある。
		部活動の活性化のためのサポート	特色ある部活動やオリンピック等で国際的な活躍を期待される部員への支援や、ボランティア活動・地域貢献活動への支援	少子化が進み、十分な部活動支援のための予算が確保できず、また、長期間に渡り使用が困難な状態の設備や用具が多く見られる。併せて、スキー等、地域に密着した種目に対する期待がある反面、有望選手を経済的に支援する仕組みが無い。
後志	倶知安農業高等学校	高校生が運営する農高のおみせ“Aggie's”(Shop & café)の充実・発展	学校の敷地内のアンテナショップにカフェを併設した“Aggie's(アギーズ)”での通年販売や取扱い商品増加による販売実習機会の充実・発展のための設備整備	“Aggie's”では生徒達が実習で生産した農畜産物や加工品等を食材として使用し、地域のお客様へ提供・販売している。 生徒達は地域と連携協働し、旬の食材や特産物を使用したメニュー等を考案しているが、現在の設備では通年を通しての販売実習が困難で、スイーツ等の要保冷商品のスムーズな提供も難しく、実習機会に限られる。 通年を通して販売実習による、地域の方々との継続した触れ合いを通して、よりよいサービスの提供を深く学ぶ教育活動の充実のための設備整備が必要である。
		酒米の栽培から地域の逸品「日本酒」造りへの挑戦	現在、町内関係団体と連携して取り組んでいる「地方創生“酒米の栽培から逸品『日本酒』づくり”プロジェクト」の発展に必要なスマート農業技術導入のためのICT機器整備や調査研究活動の充実	「倶知安町まち・ひと・総合戦略」に基づいた地域活性化のため、平成31年から町内関係団体と連携し、日本酒造りに挑戦するプロジェクトに取り組んでいるが、「魅力ある特産品づくり」、「地域産業の振興・発展に貢献」、「地元外国人との共生」という目標には、更なる活動の充実が必要である。 また、本プロジェクトがより発展することで、地域資源の発見・活用方法について生徒達が考えるきっかけともなり、地域に寄与する人材の育成へとつながる。 このため、スマート農業技術による良質な酒米の栽培管理方法の確立、国外への日本酒販路の拡大に成功している企業の事例研究、副産物の活用方法に係る大学・研究機関との連携等、様々な視点から調査・研究を行い、本プロジェクトの教育活動を充実させるため必要な経費の確保や機器の整備が必要である。